

那珂川町で『ハンプ』の実証実験を実施します

～ 生活道路の安全対策に向けて車両の速度抑制策を実施 ～

那珂川町にて生活道路の安全対策に向けて、『ハンプ』を設置し、その効果や周辺環境への影響を把握するため、下記のとおり実証実験を実施しますのでお知らせします。

国土交通省では、生活道路対策として、ビッグデータを活用して速度超過、急ブレーキ発生、抜け道等の潜在的な危険箇所を特定し、凸部（ハンプ）や狭さく等を効果的、効率的に設置することにより、速度抑制や通過交通の進入抑制を図るための技術的支援を行っています。

那珂川町では、通勤・通学時間帯の通り抜け車両の多い片縄地区において、生活道路の安全性を高めるため、片縄小学校、地元代表者等、警察、那珂川町、国土交通省などの関係者で合同点検を実施し、対策の検討を進めてきました。

今回、車両の走行速度を抑制し歩行者の安全な通行を確保することを目的に、「可搬型ハンプ」(仮設)を設置し、交通安全対策の効果や周辺環境への影響を把握するための実証実験を実施します。

記

1. 実験期間：平成30年8月27日（月）～平成30年9月27日（木） ※
2. 実験場所：那珂川町片縄地区（別添参照）
3. 実験内容：道路上に設置した『ハンプ』の速度抑制効果及び周辺環境への影響の検証
※・・・天候等により変更になることがあります。変更がある場合は、福岡国道事務所ホームページにてお知らせします。

【問い合わせ先】

那珂川町 地域整備部 建設課

課長 上溝 朋之 電話：092-953-2211（代表）

国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所

技術副所長 横山 浩 電話：092-681-4731（代表）

交通対策課長 藤木 厚志 電話：092-682-7757（直通）

那珂川町片縄地区における生活道路対策の実証実験(概要)

【実施目的】

身近な生活道路で発生する交通事故の原因の一つとして、生活道路を早いスピードで通り抜ける自動車の存在があげられます。

こうした問題に対して、運転者に対し減速を促す『ハンプ』を設置し、速度を抑制する実験を行います。

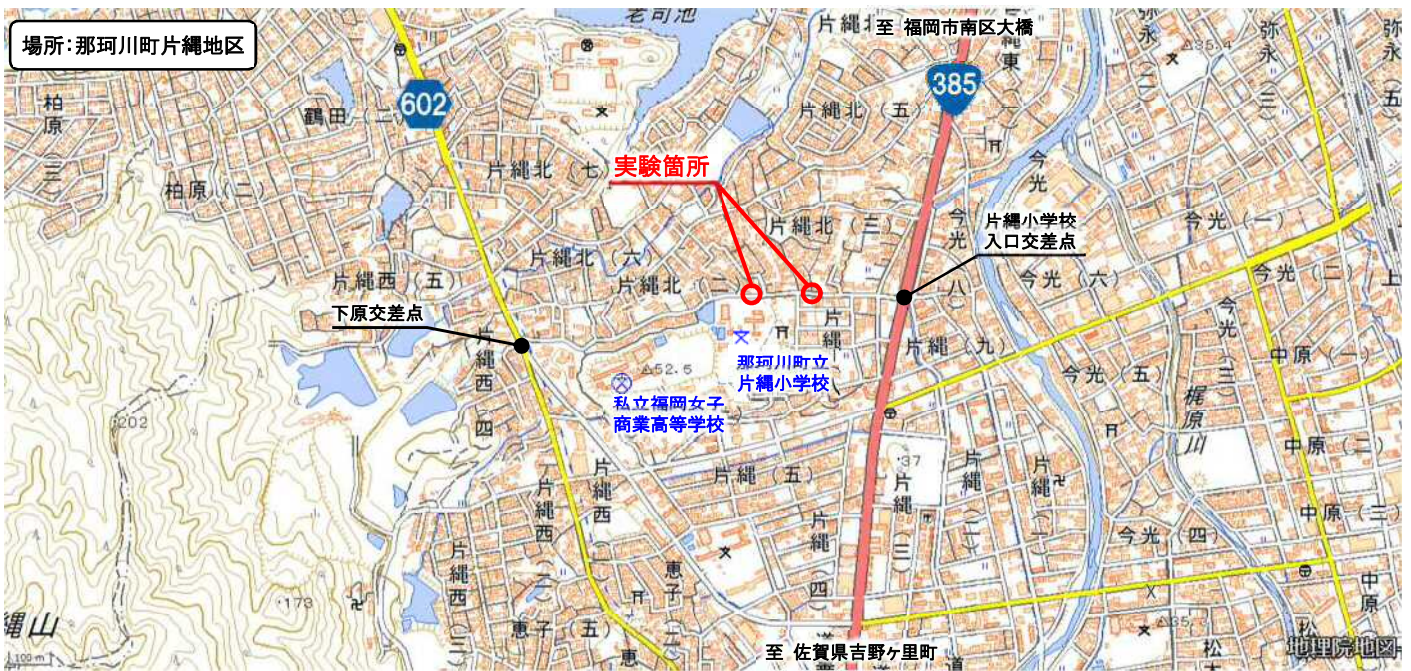
【実施スケジュール】

実証実験期間：平成30年8月27日(月)～平成30年9月27日(木)

「ハンプ」の設置(工事)日：平成30年8月25日(土)～平成30年8月26日(日) 予定

(実証実験やハンプ設置工事は、天候等により変更になることがあります。変更がある場合は、福岡国道事務所ホームページにてお知らせします。)

【実施場所】 下記の位置図に示す箇所において実証実験を実施します。

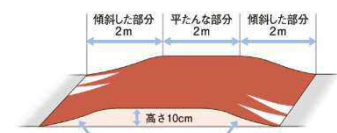


■ハンプとは？

道路の一部を盛り上げた凸状の緩やかな段差を設けることにより、運転者に対し減速を促す道路構造のことです。



■設置するハンプの構造



騒音や振動がほとんど発生しない曲線を用いています。

■ハンプ設置のイメージ



福岡市中央区平尾地区(平成29年11月実証実験)

可搬型ハンプ(仮設)は、国土交通省九州地方整備局より技術支援の一環として無償で借り受けます。